

値	内容
XTR	臨時処方

7.7 RXO – Pharmacy/Treatment Order Segment 処方/処置オーダーセグメント

これは“主要な”処方/処置オーダーセグメントである。ここには成分または添加剤に特有でないオーダーデータが記述される。OBRとは異なり、状況フィールドあるいは結果専用の他のデータは記述されない。

例えば、呼吸器治療や酸素、メタボライト (metabolites) といった薬剤を用いない治療と同様に入院患者 (単位分の投与量および複合単位分の投与量)、外来患者、静注点滴および過栄養法点滴 (栄養素点滴) を含む、任意のタイプの薬剤オーダーに使用することができる。

処方情報に加えて、このセグメントには、担当者およびテキストコメントなどの補足データが記述される。

数量/タイミングフィールドはRXOセグメントでは必要ない。ORCセグメントには、オーダーのコード化、分配、あるいは投薬にともない変化することのないオリジナルオーダーの要求ORC-7-数量/タイミングが記述される。

図4-13 RXO属性

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOTE
1	100	CE	R	R		00292	Requested Give Code 要求投薬コード	
2	20	NM	R	R		00293	Requested Give Amount – Minimum要求投薬量-最小	
3	20	NM	O	O		00294	Requested Give Amount – Maximum要求投薬量-最大	
4	60	CE	R	R		00295	Requested Give Units 要求投薬単位	
5	60	CE	O	R		00296	Requested Dosage Form 要求剤形	
6	200	CE	O	O	Y	00297	Provider's Pharmacy/Treatment Instructions 依頼者の薬剤/治療指示	
7	200	CE	O	O	Y	00298	Provider's Administration Instructions 依頼者の投薬指示	
8	200	CM	O	O		00299	Deliver-To Location 配布先	
9	1	ID	O	X		00300	Allow Substitutions 代替品許可	
10	100	CE	O	X		00301	Requested Dispense Code 要求調剤コード	
11	20	NM	O	R		00302	Requested Dispense Amount 要求調剤量	
12	60	CE	O	O		00303	Requested Dispense Units 要求調剤単位	
13	3	NM	O	X		00304	Number Of Refills 追加投薬回数	
14	60	XCN	C	O		00305	Ordering Provider's DEA Number オーダ依頼者のDEA番号	
15	60	XCN	C	X		00306	Pharmacist/Treatment Supplier's Verifier ID 検証薬剤師/治療供給者ID	
16	1	ID	O	X		00307	Needs Human Review ヒューマンレビューの必要性	
17	20	ST	C	O		00308	Requested Give Per (Time Unit) 要求投薬時間単位	
18	20	NM	O	O		01121	Requested Give Strength 要求力価	
19	60	CE	O	O		01122	Requested Give Strength Units 要求力価単位	
20	200	CE	O	X	Y	01123	Indication 指示	
21	6	ST	O	X		01218	Requested Give Rate Amount 要求投薬速度	
22	60	CE	O	X		01219	Requested Give Rate Units 要求投薬速度単位	
23	20	NM		O			Total Daily Dose 一日分投薬量	

Optionality

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7

Japan (JAHIS仕様での取り扱い)

- R - required
- O - optional

- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- N - not used useally, use only on the site

Repetition

- N - no repetition
- Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times
(integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

RXOフィールド定義

RXO-1 Requested Give Code 要求投薬コード (CE) 00292

定義：このフィールドは患者に投薬するよう依頼された医用物質の識別子を示している。機能的にはOBR-4 -汎用サービスIDコードと等価である。調剤要求フィールド（患者に与えるべき物のタイプ、量を定義する：RXO-10要求調剤コード、RXO-11-要求調剤量、RXO-12-要求調剤単位を参照）は、投薬量に関する指示とは必ずしも関連しないし、依頼にともない必ず指定されるものでもない。

例えば、オーダの「投薬」部に“15mgのリブリウム(librium)を6時間ごとに投与”というフィールド情報が記述されていても、オーダの「調剤要求」部では“この外来患者用に規定した薬剤の等価薬剤10 mgを30錠発行”という内容を伝えることもある。投薬コードに投薬形式が記述されていない場合、RXO-5-要求投薬形式を使用すること。

RXO-2 Requested Give Amount - Minimum 要求投薬量-最小 (NM) 00293

定義：このフィールドは依頼量である。可変投与量オーダでは、最小の依頼量を示す。固定投与量オーダでは、正確な依頼量を示す。

注：このフィールドは、数量/タイミングフィールドの第1成分の複製ではない。なぜなら、非薬剤/治療オーダの場合、数量/タイミングフィールドの第1成分は依頼量の倍数を指定するのに使用するからである。

言い換えれば、処方/処置オーダの場合、数量/タイミングフィールドの数量成分は各サービス間隔で与えるべきものの数量を示す。したがってRXオーダでは、その第1成分のデフォルトは常に1である。したがって、実際の依頼では、数量/タイミングフィールドの第1成分の値“1”は、このフィールド（要求投薬量フィールド）に指示された量を1回投薬することを意味する。

注（処方） 一回分の投薬量を示す。不均等投薬時は、一回分投薬量の最小値を示す。

RXO-3 Requested Give Amount - Maximum 要求投薬量-最大 (NM) 00294

定義：可変投与量オーダでは、最大依頼量を示す。固定投与量オーダでは、このフィールドは使用しない。

注（処方） 不均等投薬時、一回分投薬量の最大値を示す。

RXO-4 Requested Give Units 要求投薬単位 (CE) 00295

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ST)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ST)>

定義：このフィールドは投薬量の単位を示している。

注：この単位は“複合量”でもよい。つまり、単位は「～当たりの」という言葉を含んでもよい。例えば、KG当たりのマイクログラム (micg/kg) という単位は（体重の）KG当たりのマイクログラムであることを意味する。ISO+単位の完全な定義に関しては、第7章を参照のこと。

標準単位テーブルは複合単位の標準略語を定義するために必要である。そのようなテーブルについて合意が得られるまで、それぞれの施設でユーザテーブルが必要になる。複合単位を

解釈するのになんらかの検査結果（体重、身長など）を知る必要があるなら、これらの結果はオプションのOBXセグメントを使用して、同じオーダメッセージで送ることができる。

注（処方） 取りうる値は下図に示すとおりとする。

図7.7.1 MERIT-9 処方オーダ Ver1.1 図4 単位略号

値	内容
TAB	錠
CAP	カプセル
G	グラム
MG	ミリグラム
MCG	マイクログラム
L	リットル
ML	ミリリットル
UNT	単位
AMP	管、アンプル
BAG	袋
BTL	瓶
HON	本
KO	個
PCK	包
SHT	枚
VIL	バイアル

第三成分（name of coding system）には、'MR9P' を設定する。

例. TAB^錠^MR9P と表現

RXO-5 Requested Dosage Form 要求剤形 (CE) 00296

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ST)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ST)>

定義：このフィールドは、薬物が調合される形態を示している。例えばタブレット、カプセル、坐薬である。ある場合には、この情報はRXO-1-要求投薬コードまたはRXO-10-要求分配コードの中の分配/投薬コードによって示される。これは次の場合に使用すること。すなわちRXO-1-要求投薬コードおよびRXO-10-要求分配コードが両方とも薬剤/治療形式を指定しない場合である。

注（処方） 取りうる値は下図に示すとおりとする。

図7.7.2 MERIT-9 処方オーダ Ver1.1 図3 剤形略号

値	内容
TAB	錠剤
CAP	カプセル剤
PWD	散剤、ドライシロップ剤
SYR	シロップ剤
SUP	坐剤
LQD	液剤
OIT	軟膏、ゲル
CRM	クリーム
TPE	テープ、貼付剤
INJ	注射剤

第三成分（name of coding system）には、'MR9P' を設定する。

RXO-6 Provider's Pharmacy/Treatment Instructions 依頼者の処方/処置指示 (CE) 00297

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ST)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ST)>

定義：このフィールドは、オーダ依頼者が薬剤あるいは非薬剤による治療供給者（例えば呼吸器治療）へ出す指示を識別する。もしコード化されるならば、ユーザテーブルを使用しなければならない。もしフリーテキスト・フィールドとして送信されるならば、第1の成分にはヌルを、第2の成分にはテキストを置くこと。例えば、|` this is a free text treatment instruction|。

注（処方） 複数の指示がある場合、反復セパレータを使用して、複数記述することができる。取りうる値は、下図に示すとおりとする。

図7.7.3 依頼者の処方指示

ID	テキスト	内容
EMG	1	緊急
EMG	2	保管
SPS	1	薬剤情報提供文書発行
SPS	2	健康手帳に記載し、かつ薬剤情報提供文書発行

第三成分（name of coding system）には、' JHSP ' を設定する。

表7.7.4 調剤特別指示

Value	Description
A	別包指示
B	一包装指示
C	混合指示
D	粉碎指示

第三成分（name of coding system）には、' JHSP ' を設定する。

調剤特別指示については、MSHセグメントに從属するNTEセグメントで処方箋単位の調剤特別指示が設定されていても、薬剤単位ではこちらの設定が優先する。

RXO-7 Prorider's Administration Instructions 依頼者の投薬指示 (CE) 00298

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ST)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ST)>

定義：このフィールドは、オーダ依頼者が患者、または投薬や治療の供給者へ出す指示を識別する。もしコード化されるならば、ユーザテーブルを使用しなければならない。もしフリーテキストとして送信されるならば、第1の成分にはヌルを、第2の成分にはテキストを置くこと。例えば、| ^ this is a free text administration instruction|。

注（処方） 複数の指示がある場合、反復セパレータを使用して、複数記述することができる。取りうる値は、下図に示すとおりとする。

図7.7.4 依頼者の投薬指示

ID	テキスト	内容
DVD	a-b-c-d	a,b,c,dは不均等投薬時の投与量をあらわす 投薬毎の投与量をセパレータで区切って指示する 規約上1日の投与回数は制限しない

第三成分（name of coding system）には、' MR9P ' を設定する。

RXO-8 Deliver-To Location 配布先 (CM) 00299

定義：第1の成分は、PLデータタイプに基づいて作られており、薬局または治療供給者が薬または治療装置（適用可能な場合に）を配布する入院患者または外来患者の居場所を含んでいる。デフォルト値（ヌル）は現在の患者登録場所である。この成分はPV1-3-割当患者の居場所と同じ形式を持つ。最後の成分では住所を指定できる。これは、患者または依頼者にオーダ配布を行ったり、ホームレスケアの請求を行うため使用されることがある。

注（処方） 処方オーダ発行時点の入院病床を示す。転棟・転科等で入院病床が変わった場合、QRY/ADRメッセージで照会ができる。

RXO-9 Allow Substitutions 代替品許可 (ID) 00300

定義：以下に値を示す：

テーブル0161 代替品許可

値	内容
N	代替品は認可されない (これはデフォルト (ヌル) である)。
G	一般代替品を許可。
T	治療用代替品を許可。

RXO-10 Requested Dispense Code 要求調剤コード (CE) 00301

定義：このフィールドは調剤されるまたはされたものを示している。機能的にはOBR-4-汎用サービスIDと等価。オーダに存在するかどうかはアプリケーションに依存する。存在しない場合、RXO-11-要求調剤量とRXO-12-要求調剤単位に値が設定されていれば、RXO-1-要求投薬コードが仮定される。要求調剤コードに投薬形式が記述されていなければ、RXO-5-要求投薬形式を使用すること。

要求調剤フィールドでの注意事項

調剤要求された薬剤の総量が、投薬量やスケジュールと直接関係がしないようにオーダを記述することがある。例えば、外来患者処方オーダが、「錠剤 (薬剤名、値) をQ6H (6時間毎) に1日4錠飲む -- 30錠を投与する」ということもありうる。入院患者オーダが、「1000cc / 時間でNS/D5W (5%のブドウ糖入り通常塩) -- NSD5W 溶剤1リットル瓶を3本投与する」ということもありうる。要求調剤フィールドはオーダのこの共通のスタイルに対応している。

RXO-11 Requested Dispense Amount 要求調剤量 (NM) 00302

定義：このフィールドは調剤される量である。

注 (処方) 要求投薬量の総量を示す。

RXO-12 Requested Dispense Units 要求調剤単位 (CE) 00303

定義：このフィールドは調剤量の単位を示している。これは、調剤される物質の実際量を反映する単純単位でなければならない。複合単位は含まない。

注 (処方) とりうる値は、RXO-4と同様。

RXO-13 Number Of Refills 追加投薬回数 (NM) 00304

定義：このフィールドは、要求分配量がローカル規制に従って何回患者に与えられたか定義する。外来患者のみに適用。

RXO-14 Ordering Provider's DEA Number オーダ依頼者のDEA番号 (XCN) 00305

定義：このフィールドはもし施設によって要求されるならば、このフィールドは依頼者物質管理番号を識別する。それは条件付きのものとして定義される。なぜなら要求される物質が規制物質 (例えば麻酔剤) である場合それが必要とされるからである。

注 (処方) 麻薬施用者の免許番号を示す。

RXO-15 Pharmacist/Treatment Supplier's Verifier ID 薬剤師/治療依頼者の検証ID (XCN) 00306

定義：このフィールドは薬剤師/処理物質供給業者検証者の供給者IDである。もし薬剤や治療アプリケーション、またはオーダの施設 (またはオーダサブグループ) で要求されるならば、ORC-11検証担当者に追加して使用すること。

例：

依頼に際し、施設が「検証」担当者 (例えば看護婦など) と「検証薬剤師/治療供給者」を要求するとする。この場合、第1フィールド「ORC-11-検証担当者」はすでに指定されているが、さらに第2フィールド「RXO-15-検証薬剤師/治療供給者ID」を指定する必要がある。

RXO-16 Needs Human Review ヒューマンレビューの必要性 (ID) 00307

定義：テーブル0136-Y/N標識-を使用する。このフィールドの値の意味を以下に示す。

テーブル0136 Y/N標識

値	内容
Y	Yes-オーダを満たす薬剤師または薬剤師以外の治療供給者が、「RXO-6-依頼者の薬剤/治療指示」中のテキストに特別の注意を払う必要があることを示す。警告が存在する。
N	No-注意事項なし。これはデフォルト (Null) と同値。

このフィールドの使用例を次に示す：

洗練された「オーダ入力」アプリケーションであれば、あるオーダについて考えうる薬剤もしくは相互作用について知っている。しかし、オーダの依頼者は薬理相互作用についての条件を無効にしたい。この場合、実施および治療アプリケーションでは、相互作用について調査し依頼医師と連絡するようスタッフの薬剤師もしくは薬剤師以外の治療供給者に要求することができる。

RXO-17 Requested Give Per(Time Unit) 要求投薬時間単位 (ST) 00308

定義：このフィールドは投薬率の計算に使用する時間単位を示している。

フォーマット：

- S 〈整数〉 = 〈整数〉 秒
- M 〈整数〉 = 〈整数〉 分
- H 〈整数〉 = 〈整数〉 時間
- D 〈整数〉 = 〈整数〉 日
- W 〈整数〉 = 〈整数〉 週
- L 〈整数〉 = 〈整数〉 月

注： 上記フォーマットは、“X” 指定以外、数量/タイミングフィールドの「継続時間 (DURATION)」成分で指定するフォーマットと同じである。

このフィールドは条件付きである。なぜならそれが要求されるのはオーダされた薬剤が連続的に所定の率（例えばある種の静注点滴）で投与されることになっているからである。例えばもし「投薬量/単位」が300mlで「投薬」時間単位がH1であるならば、率は300ml/hrであり投与の継続時間は1時間である。このようにして、投与量と単位時間当たり投与量によってサービスの継続時間が定義される。

このフィールドは、数量/タイミングフィールドの“時間間隔”成分と異なるが、その成分と組み合わせて使用することができる。例えば、「毎時300mlのNSを1時間投薬。これを1日2回繰り返す」。

RXO-18 Requested Give Strength 要求力価 (NM) 01121

定義：このフィールドを使用するのは、RXO-1-要求投薬コードが力価を指定しないときである。これは力価の数値の部分であって、要求力価単位と結合して使用される。

力価および力価単位フィールドが、さまざまなRX__セグメントに含まれた数量および数量単位フィールドに加えて必要になる。その理由を説明する。内科医は、2つの方法でアンピシリンのような薬の処方を書くことができる。1つの方法は次のとおりである。「アンピシリン250mgの錠剤、2粒を1日4回。」この場合投与量は2、投与単位は錠剤、力価は250、力価単位はミリグラムである。しかしながら、依頼者は「アンピシリン500mg、1日4回」と処方箋を書くことがある。この場合投与量は500で、投与単位はミリグラムである。力価はRXOセグメント中で報告されない。なぜならそれが指定されないからである。薬は、250mg 2カプセルまたは500mg 1カプセル投与することができる。しかし、薬剤師は特定の錠剤サイズを決めて、処方した錠剤サイズを250または500としてRXEセグメントに力価を記録する。

力価、単位、投薬経路、および製造会社を単一コードで指定するコード化方式もある。NDCコードは通常、医薬品だけでなく力価、単位、剤型も意味する。例えば0047-0402-30 Ampicillin 250 MG TABS NDC。したがって、この情報はすべてRXO-1-要求投薬コードの中で、そして他の薬剤/治療セグメントの中の類似のCEフィールドの中で完全に指定され得る。この場合、この情報を指定するために力価および力価単位フィールドを使用する必要はない。

注（処方） 製剤単位あたりの力価を示す。

RXO-19 Requested Give Strength Unit 要求力価単位 (CE) 01122

定義：これを使用するときは、RXO-1-要求投与コードおよびRXO-10-要求分配コードの両方が強度を指定しないときである。これは力価単位であってRXO-18-要求力価と結合して使用される。

注：これらの単位は「複合量」でありうる。つまり、単位は、単位時間当たりの量を表現することがある。例えばマイクログラム毎時 (ug/h) は許容される値である。これらの複合単位はISO+テーブルに含まれている。ISO+単位の十分な定義については第7章を参照すること。

注（処方） とりうる値は、RXO-4と同様。

RXO-20 Indecation 指示 (CE) 01123

定義：このフィールドは、薬剤/治療が処方された条件または問題を示している。多数の指示が適切な場合、繰り返すことがある。

RXO-21 Requested Give Rate Amount 要求投薬速度 (ST) 01218

定義：このフィールドは投薬速度を示している。

RXO-22 Requested Give Rate Units 要求投薬速度単位 (CE) 01219

定義：このフィールドはRXO-21-要求投薬与速度で使われている単位を含んでいる。

RXO-23 Total Daily Dose 一日分投薬量 (NM)

定義：内服薬の場合、一日分の投薬量を示す。単位は、RXO-4 と同一とみなす。

7.8 RXR – pharmacy/treatment route segment 投薬経路セグメント

薬剤/治療経路セグメントには、処方される経路、部位、投薬装置、投薬方法の任意な組み合わせが含まれる。どの経路を選ぶかは、薬剤/治療スタッフ及び看護スタッフのいずれか、またはその両方に任されるが、その判断基準は、各スタッフの専門的判断か、医師の投薬指示に基づく。

図4-14 RXR属性

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOTE
1	60	CE	R			00309	Route 経路	
2	60	CE	O			00310	Site 部位	
3	60	CE	O			00311	Administration Device 投薬装置	
4	60	CE	O			00312	Administration Method 投薬方法	

RXR フィールド定義

RXR-1 Route 経路 (CE) 00309

定義：このフィールドは投薬経路である。

ある種のNDC系コードなど現在の“経路コード”の中には、すでに部位を含むものがある。このような場合、コード全体は、CEデータタイプの“ローカル定義コード”として、このフィールドに含めることができる。有効な値については、HL7テーブル0162 - 投薬経路を参照。

テーブル0162 投薬経路

値	内容	値	内容
AP	Apply Externally	MM	Mucous Membrane
B	Buccal	NS	Nasal
DT	Dental	NG	Nasogastric
EP	Epidural	NP	Nasal Prongs*
ET	Endotracheal Tube*	NT	Nasotracheal Tube
GTT	Gastrostomy Tube	OP	Ophthalmic
GU	GU Irrigant	OT	Otic
IMR	Immerse (Soak) Body Part	OTH	Other/Miscellaneous
IA	Intra-arterial	PF	Perfusion
IB	Intrabursal	PO	Oral
IC	Intracardiac	PR	Rectal
ICV	Intracervical (uterus)	RM	Rebreather Mask*
ID	Intradermal	SD	Soaked Dressing
IH	Inhalation	SC	Subcutaneous
IHA	Intrahepatic Artery	SL	Sublingual
IM	Intramuscular	TP	Topical
IN	Intranasal	TRA	Tracheostomy*
IO	Intraocular	TD	Transdermal
IP	Intraperitoneal	TL	Translingual
IS	Intrasynovial	UR	Urethral
IT	Intrathecal	VG	Vaginal
IU	Intrauterine	VM	Ventimask
IV	Intravenous	WND	Wound
MTH	Mouth/Throat		

*主として呼吸器治療および麻酔に使用される。

RXR-2 Administrative Site 投薬部位 (CE) 00310

定義：このフィールドは投薬経路の部位を含んでいる。有効な値については、HL7テーブル0163 - 投薬部位を参照。

CEデータタイプとしてこのフィールドを拡張すると、広範囲の部位コードをカバーすることができる（例えば、SNOMEDをテーブルソースとして使用する場合）。

テーブル0163 投薬部位

値	内容	値	内容
BE	Bilateral Ears	LVL	Left Vastus Lateralis
OU	Bilateral Eyes	NB	Nebulized
BN	Bilateral Nares	PA	Perianal
BU	Buttock	PERIN	Perineal
CT	Chest Tube	RA	Right Arm
LA	Left Arm	RAC	Right Anterior Chest
LAC	Left Anterior Chest	RACF	Right Antecubital Fossa
LACF	Left Antecubital Fossa	RD	Right Deltoid
LD	Left Deltoid	RE	Right Ear
LE	Left Ear	REJ	Right External Jugular
LEJ	Left External Jugular	OD	Right Eye
OS	Left Eye	RF	Right Foot
LF	Left Foot	RG	Right Gluteus Medius
LG	Left Gluteus Medius	RH	Right Hand
LH	Left Hand	RIJ	Right Internal Jugular
LIJ	Left Internal Jugular	RLAQ	Rt Lower Abd Quadrant
LLAQ	Left Lower Abd Quadrant	RLFA	Right Lower Forearm
LLFA	Left Lower Forearm	RMFA	Right Mid Forearm
LMFA	Left Mid Forearm	RN	Right Naris
LN	Left Naris	RPC	Right Posterior Chest
LPC	Left Posterior Chest	RSC	Right Subclavian
LSC	Left Subclavian	RT	Right Thigh
LT	Left Thigh	RUA	Right Upper Arm
LUA	Left Upper Arm	RUAQ	Right Upper Abd Quadrant
LUAQ	Left Upper Abd Quadrant	RUFA	Right Upper Forearm
LUFA	Left Upper Forearm	RVL	Right Vastus Lateralis
LVG	Left Ventragluteal	RVG	Right Ventragluteal

RXR-3 Administrative Device4 投薬装置 (CE) 00311

定義：このフィールドは投薬または他の治療の一助に使用される機械装置を含んでいる。よくある例としては、各種点滴セットがある。有効な値については、HL7テーブル0164 - 投薬装置を参照。

テーブル0164 投薬装置

値	内容	値	内容
AP	Applicator	IVS	IV Soluset
BT	Buretrol	MI	Metered Inhaler
HL	Heparin Lock	NEB	Nebulizer
IPPB	IPPB	PCA	PCA Pump
IVP	IV Pump		

RXR-4 Administrative Method 投薬方法 (CE) 00312

定義：投薬方法の指定により、患者への投薬や治療に必要な特定の方法を識別する。有効な値については、HL7テーブル0165 - 投薬方法を参照。

テーブル0165 投薬方法

値	内容	値	内容
CH	Chew	NB	Nebulized
DI	Dissolve	PT	Pain
DU	Dust	PF	Perfuse
IF	Infiltrate	SH	Shampoo
IS	Insert	SO	Soak
IR	Irrigate	WA	Wash
IVPB	IV Piggyback	WI	Wipe
IVP	IV Push		

7.9 MSA - Message Acknowledgment Segmentメッセージ応答セグメント

MSAセグメントは、他のメッセージの肯定応答の特性を定義する。

図 2-9. MSA attributes MSA属性

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM #	ELEMENT NAME	NOTE
1	2	ID	R	R		00018	Acknowledgment Code 肯定応答コード	
2	20	ST	R	R		00010	Message Control ID メッセージ制御ID	
3	80	ST	O	O		00020	Text Message テキストメッセージ	
4	15	NM	O	O		00021	Expected Sequence Number 予想シーケンス	
5	1	ID	B	O		00022	Delayed Acknowledgment Type 遅延肯定応答タイプ	
6	100	CE	O	O		00023	Error Condition エラー状態	

Optionality

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7

Japan (JAHIS仕様での取り扱い)

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- N - not used usually, use only on the site

Repetition

- N - no repetition
- Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times
(integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

MSAフィールド定義

MSA-1 Acknowledgment Code 肯定応答コード (ID) 00018

定義： このフィールドでは肯定応答コードを含んでおり、メッセージ処理規則に従っている。HL7テーブル0008 肯定応答コードを参照。

テーブル 0008 - Acknowledgment Code 肯定応答タイプ

Value	Description
AA	基本モード:アプリケーション受諾 拡張モード:アプリケーション肯定応答:受諾
AE	基本モード:アプリケーションエラー 拡張モード:アプリケーション肯定応答:エラー
AR	基本モード:アプリケーションリジェクト 拡張モード:アプリケーション肯定応答:リジェクト
CA	拡張モード:受諾肯定応答:コミット受諾
CE	拡張モード:受諾肯定応答:コミットエラー
CR	拡張モード:受諾肯定応答:コミットリジェクト

MSA-2 Message Control IDメッセージ制御ID (ST) 00010

定義： このフィールドは送信システムから送られてきたメッセージのメッセージ制御IDを含んでいる。送信システムは、この応答と、それが目的とするメッセージを関連づける。

MSA-3 Text Message テキストメッセージ (ST) 00020

定義： エラー条件をより詳細に記述するオプションのテキストフィールド。このテキストは、エラーログに印刷するか、あるいはエンドユーザに提示することができる。

MSA-4 Expected Sequence Number 次に来るべきシーケンス番号 (NM) 00021

定義： シーケンス番号プロトコルで使用されるオプションの数値フィールド。

MSA-5 Delayed Acknowledgment Type 遅延肯定応答タイプ (ID) 00022

定義： このフィールドは下位互換性のためのものである。

テーブル 0102 - Delayed acknowledgment type 遅延肯定応答タイプ

Value	Description
D	メッセージが受領され、後の処理に備えて蓄積された
F	処理の後の承認

MSA-6 Error Condition エラー条件 (CE) 00023

Components: <identifier (ID)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ST)> ^ <alternate identifier (ID)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ST)>

定義：このフィールドは肯定応答システムがユーザ定義のエラーコードを使用し、ARタイプまたはAEタイプの肯定応答をさらに規定することができる。このフィールドは、MSA-3-テキストメッセージの代わりに一般に使われる。

※エラーコードに関しては両者間で調整の上用いる。

7.10 ERR - Error Segment エラーセグメント

ERR セグメントを使用して、エラーコメントを肯定応答メッセージに加える。

図 2-10. ERR attribute ERR属性

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	TBL#	ITEM #	ELEMENT NAME	NOTE
1	80	CM	R	R	Y		00024	Error Code and Location エラーコードおよびロケーション	

Optionality

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7

Japan (JAHIS仕様での取り扱い)

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- N - not used useally. use only on the site

Repetition

- N - no repetition
- Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times
(integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

ERRフィールド定義

ERR-1 Error Code and Location エラー・コードと位置 (CM) 00024

Components:<segment ID (ST)> ^ <sequence (NM)> ^ <field position (NM)> ^ <code identifying error (CE)>

定義：このフィールドは他のメッセージ内のエラーセグメントを識別する。セグメントIDタイプのセグメントが複数ある場合、第2成分はインデックスである。HL7コード化規則を使用しないシステムの場合、第3成分にデータ項目番号を使うことがある。第4成分はユーザ定義のエラーテーブルを参照し、現在副成分セパレーターがCEの成分セパレーターなので、どんな副成分を持ってもいけない。

7.11 QRD – Query Definition Segment 問合せ定義セグメント

QRDセグメントを使用して問合せを定義する。応答では問い合わせメッセージのQRDセグメントをエコーバックする。その構造を図7-13に要約する。

図 7-13. QRD attributes QRD属性

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOTE
1	26	TS	R	R		00025	Query Date/Time 照会日付/時間	
2	1	ID	R	R		00026	Query Format Code 照会フォーマットコード	
3	1	ID	R	R		00027	Query Priority 照会優先度	
4	10	ST	R	R		00028	Query ID 照会ID	
5	1	ID	O	N		00029	Deferred Response Type 遅延応答型	
6	26	TS	O	N		00030	Deferred Response Date/Time 遅延応答日付/時間	
7	10	CQ	R	R		00031	Quantity Limited Request 量限定要請	
8	60	XCN	R	R	Y	00032	Who Subject Filter 対象人物フィルタ	
9	60	CE	R	R	Y	00033	What Subject Filter 対象主題フィルタ	
10	60	CE	R	R	Y	00034	What Department Data Code 対象部門データコード	
11	20	ST	O	O	Y	00035	What Data Code Value Qual. 対象データコード修飾子	
12	1	ID	O	O		00036	Query Results level 照会結果レベル	

Optionality

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7

Japan (JAHIS仕様での取り扱い)

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- N - not used usually. use only on the site

Repetition

- N - no repetition
- Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times
- (integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

QRDフィールド定義

QRD-1 Query Date/Time 問合せ日時 (TS) 00025

定義：このフィールドはアプリケーションプログラムが問合せを作成した日付を含んでいる。

QRD-2 Query Format Code 問合せフォーマットコード (ID) 00026

定義：このフィールドでは、採りうるコードについては、テーブル0106-問合せフォーマットコードを参照。

通常はR（診療記録用モード）を指定する。

テーブル0106- Query/Response Format Code 問合せフォーマットコード

Value	Description
D	応答が表示モードにある
R	応答が診療記録用モードにある
T	応答が表用フォーマットにある

QRD-3 Query Priority 問合せ優先度 (ID) 00027

定義：このフィールドは応答が期待される時間枠を含んでいる。採りうるコードについては、テーブル0091-問合せ優先度参照。テーブル値と以降のフィールドは、応答の時間枠を指定する。

D (遅延応答) はバッチ問合せ時に、ホスト側の処理の問題で即時応答が保証できない様な場合に使用する。応答日付/時間指定遅延応答は処理や運用が複雑になる可能性があり、通常は使用しない。

テーブル0091 - Query Priority 問合せ優先度

Value	Description
D	延引
I	即時

QRD-4 Query ID 問合せID (ST) 00028

定義：このフィールドはその問合せに対する一意な識別子を含んでいる。問合せアプリケーションが割り当てる。応答アプリケーションがそのまま返す。

QRD-5 Deferred Response Type 遅延応答タイプ (ID) 00029

定義：このフィールドでは採りうる値については、テーブル0107-遅延応答タイプを参照。QRD-3で記述した理由により通常は使用しない。

テーブル0107- Deferred Response Type 遅延応答タイプ

Value	Description
B	指定された日付/時間の前に
L	指定された日付/時間の後に

QRD-6 Deferred Response Date/Time 遅延応答日時 (TS) 00030

定義：このフィールドは遅延応答を送る前か後の日時を含んでいる。存在しない場合、応答は可能になった時点で送ることができる (上記QRD-5-遅延応答タイプを参照)。

QRD-3で記述した理由により通常は使用しない。

QRD-7 Quantity Limited Request 数量限定要求 (CQ) 00031

Components: <quantity (NM) ^ <units (CE)>

定義：このフィールドは要求システムが受諾できる応答の最大長を含んでいる。有効な応答は、第2成分内で指定した単位で与えられた数値である。採りうる値については、テーブル0126-数量限定要求を参照。デフォルトはLIである。

通常はRD (診療記録) を指定する。

テーブル0126- Quantity Limited Request 量限定要請

Value	Description
CH	文字
LI	行
PG	ページ
RD	診療記録
ZO	ローカルに定義される

QRD-8 Who Subject Filter 対象人物フィルタ (XCN) 00032

Components: <ID number (ST)> ^ <family name (ST)> ^ <given name (ST)> ^ <middle initial or name (ST)> ^ <suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <degree (e.g., MD) (ST)> ^ <source table (IS)> ^ <assigning authority (HD)> ^ <name type code (ID)> ^ <code identifying the check digit scheme employed (ID)> ^ <identifier type code (IS)> ^ <assigning facility ID (HD)>

Subcomponents of assigning authority: <namespace ID (IS)> & <universal ID (ST)> & <universal ID type (ID)>

Subcomponents of assigning facility: <namespace ID (IS)> & <universal ID (ST)> & <universal ID type (ID)>

定義：対象人物、つまりだれに関する問合せかを識別する。

通常の運用では次のフォーマットになる。

患者ID^姓^名

ここで、姓・名は半角カナ以外の文字とする。(2バイトコードも可)

(注) このフィールドは繰り返し可であるが、複数の患者を指定した場合はQRD-10 (対象部門データコード) で指定する内容と各患者の対応が判別できなくなるため、このフィールドを用いて複数の患者を指定する場合はQRD-10を使用しないものとする。

QRD-9 What Subject Filter 対象主題フィルタ (CE) 00033

Components: <identifier (ID)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ST)> ^ <alternate identifier (ID)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ST)>

定義: このフィールドは要求に応えるために必要な情報の種類を記述する。有効なコードはトランザクション問合せのタイプを定義し、実装時に施設で拡張することができる。OSQメッセージ (オーダ照会) においてはORDを使用する。

テーブル0048- What Subject Filter 対象主題フィルタ

Value	Description
ADV	助言/診断
ANU	看護ユニットルックアップ (ベッドにいる患者を返す。空きベッドは除く)
APN	患者名ルックアップ
APP	医師ルックアップ
ARN	看護ユニットルックアップ (ベッドの患者を返す。空きベッドも含む)
APM	カルテ番号問合せ。そのカルテ番号の受付け番号を返す。
APA	口座番号問合せ。一致した受付け番号を返す。
CAN	取り消し。問合せを取り消すために使用される。
DEM	デモグラフィックス
FIN	財務
GOL	目標
MRI	最も最近の入院患者
MRO	最も最近の来院患者
NCK	ネットワーク時刻
NSC	ネットワーク状態変更
NST	ネットワーク統計
ORD	オーダ
OTH	他
PRB	問題
PRO	手順
RES	結果
RAR	処方管理情報
RER	処方コード化オーダ情報
RDR	処方調剤情報
RGR	処方投与情報
ROR	処方箋情報
SAL	すべての予約関連情報。空いた予約枠、予約された予約枠、予約停止枠予約枠を含む
SBK	識別された予定における予約された予約枠
SBL	識別された予定における予約停止枠予約枠
SOP	識別された予定における空いた予約枠
SSA	単一の予約に利用できる時間予約枠
SSR	再度の予約に利用できる時間予約枠
STA	状態
VXI	予防接種情報

QRD-10 What Department Data Code 対象部門データコード (CE) 00034

Components: <identifier (ID)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ST)> ^ <alternate identifier (ID)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ST)>

定義: このフィールドは検査番号、手順番号、薬剤コード、項目番号、オーダ番号などが指定可能である。このフィールドの内容は、直前のフィールドの内容により決定される。このフィールドには、反復区切り文字で区切ることにより、複数の発生を含むことができる。

本フィールドには、原則としてORC-2 (依頼者番号) を指定するものとする。

検体番号等でやり取りする必要がある場合には、HIS側一側両者で話し合っておくこと。

QRD-11 What Data Code Value Qual. 対象データ・コード値修飾子 (CM) 00035

Components: <first data code value (ST)> ` <last data code value (ST)>

定義：このフィールドは対象データコード値修飾子を含んでいる。その問合せをさらに規定するウィンドウまたは範囲。このフィールドには、成分セパレーターによって区切られた開始/停止が含まれることがある。

QRD-10で指定する番号の範囲指定はこのフィールドで行う。

QRD-12 Query Results level 結果レベル (ID) 00036

定義：このフィールドは結果の詳細レベルを制御するのに使用する。採りうるコードについては、テーブル0108-問合せ結果レベルを問合せ。

臨床検査依頼照会では通常はO（オーダとオーダ状態）を指定する。

臨床検査結果照会では通常はT（すべての結果）を指定する。

テーブル0108- Query Results level 問合せ結果レベル

Value	Description
O	オーダとオーダ状態
R	長文を除いた結果
S	状態のみ
T	すべての結果

付録 メッセージ使用例

この節、実際の処方例にもとずき、処方メッセージがどの様に構築されるかを示すことで、規約の解釈の相違により、メッセージの使用法に相違が出ない様にするにある。

次の処方例について、メッセージの例を示す。尚、ORCおよびRXOセグメントについてのみ詳細を記述し、他のセグメントについては内容を省略して記述する。

- (1) 内服薬
- (2) 外用薬
- (3) 座薬
- (4) 麻薬
- (5) 注射薬
- (6) 自己注射
- (7) 頓服薬
- (8) 漸増(漸減)投与
- (9) 隔日投与
- (10) 不均等投与
- (11) 交互投与

(1) 内服薬

- ① ダーゼン錠 (5mg) 3錠
パンスポリンT錠 (100mg) 6錠
1日3回 毎食後 3日分
- ② アレピアチン10倍散 100mg
フェノバルビタール10倍散 100mg
1日2回 朝夕食後 14日分

MSH|.....<CR>

PID|.....<CR>

ORC|NW|1001^ORDER||12345678-1||E|^TID&PC^D3^20000825||||123456^山田^太郎^^^^L|^ヤマダ^タロ
ウ^^^^L^P||||||OHP^外来処方^MR9P^XTR^臨時処方^MR9P<CR>

RXO|3959003F1127^ダーゼン錠(5mg)^JMD-199712|1||TAB^錠^MR9P|TAB^錠剤^MR9P|||||9|TAB^錠
^MR9P|||||||3<CR>

ORC|NW|1001^ORDER||12345678-1||E|^TID&PC^D3^20000825||||123456^山田^太郎^^^^L|^ヤマダ^タロ
ウ^^^^L^P||||||OHP^外来処方^MR9P^XTR^臨時処方^MR9P<CR>

RXO|6132012F1127^パンスポリンT錠(100mg)^JMD-199712|2||TAB^錠^MR9P|TAB^錠剤^MR9P|||||18|TAB^
錠^MR9P|||||||6<CR>

ORC|NW|1001^ORDER||12345678-2||E|^BID&PCM^D14^20000825||||123456^山田^太郎^^^^L|^ヤマダ^タ
ロウ^^^^L^P||||||OHP^外来処方^MR9P^ORD^定期処方^MR9P<CR>

RXO|1132002B1043^アレピアチン10倍散^JMD-199712|50||MG^ミリグラム^MR9P|PWD^散剤
^MR9P|||||1400|MG^ミリグラム^MR9P|||||0.1|G^グラム^MR9P||||100<CR>

ORC|NW|1001^ORDER||12345678-2||E|^BID&PCM^D14^20000825||||123456^山田^太郎^^^^L|^ヤマダ^タ
ロウ^^^^L^P||||||OHP^外来処方^MR9P^ORD^定期処方^MR9P<CR>

RXO|1125003B11^フェノバルビタール10倍散^JMD-199712|50||MG^ミリグラム^MR9P|PWD^散剤
^MR9P|||||1400|MG^ミリグラム^MR9P|||||0.1|G^グラム^MR9P||||100<CR>

(2) 外用薬

- ① ジフラル軟膏(10g) 2本
1日4回 左手塗布

MSH|.....<CR>

PID|.....<CR>

ORC|NW|2201^ORDER||12345678-1||E|^QID^^20000825||||123456^山田^太郎^^^^L|^ヤマダ^タロウ
^^^^L^P||||||OHP^外来処方^MR9P<CR>

RXO|2646723M1024^ジフラル軟膏(10g)^JMD-199712||G^グラム^MR9P|OIT^軟膏^MR9P|||||2|HON^本
^MR9P<CR>

RXR|AP^Apply Externally|LH^Left Hand<CR>

(3) 座薬

- ① ポラギノールN座薬 2個
1日2回朝夕 14日分

MSH|.....<CR>

PID|.....<CR>

ORC|NW|2201^ORDER||12345678-1||E|^BID&QAM,QPM^D14^20000825||||123456^山田^太郎^^^^L|^ヤマダ
^タロウ^^^^L^P||||||DCG^退院処方^MR9P<CR>

